

＜エッセイ＞

アイドル業界におけるキャリア形成をめぐる課題

—キャリアコンサルタントの観点から—

Challenges in Career Development in the Idol Industry

—From the Perspective of a Career Consultant—

十束おとは

Otoha Totsuka

近年、アイドル業界は推し文化の拡大や SNS・ライブ配信市場の成長を背景に、多様な形へと広がりを見せています。活動形態も細分化され、より個々人が自分らしいスタイルで活動できる環境が整いつつあるといえるでしょう。私も大学卒業後、一度一般企業で勤務したのち、フィロソフィーのダンスというアイドルグループで7年半活動してきました。かつては「アイドル＝若い」というイメージが強くありましたが、現在では年齢やアイドルとしての在り方も多様化しており、活躍の可能性が広がっていることを嬉しく思います。しかし、こうした自由度の高さはキャリア形成の不安定さを個人が背負いやすい構造とも隣り合わせです。キャリアコンサルタントの視点からみると、アイドル業界には中長期的なキャリアについて考える機会を持ちにくい側面があると感じています。本稿では、アイドル業界におけるキャリア形成の課題について考察したいと思います。

まず挙げられるのは、アイドルという職業が将来の見通しを立てにくいという点です。私自身、アイドルという仕事が好きでしたし、多くの人に夢や希望を届けることのできる魅力的な職業だと今でも思っています。ただ、芸能界は人気や市場環境の変化による影響を受けやすく、「今」の需要に価値が集中しやすい構造でもあります。そのため、生涯にわたってアイドルとして活動を続けられるケースは限られており、多くの人にとって継続的な活動が難しい職業でもあります。また、若年層で活動を開始するケースが多いことも特徴の一つです。十分な自己理解や職業観が形成される前に、アイドルとしてのキャリアをスタートする人も少なくありません。目の前の活動に全力を注ぐことは、とても素敵なことです。しかし、激動の日々の中で自身の将来や活動後のキャリアについて考える機会を持ちにくいまま時間が過ぎてしまうこともあります。その結果、活動終了後に進路やキャリア選択への不安を抱えるケースも一定数あるのが現状です。

こうした背景には、芸能界特有の働き方も関係していると考えられます。一般企業では、研修やジョブローテーションなどを通じて中長期的なスキル形成を支援する仕組みがあります。しかし、アイドルをはじめとする芸能活動では日々の活動が優先されやすく、将来のキャリアについて考える機会が後回しになりやすい傾向があるのではないのでしょうか。

一方で、アイドル活動を通じて培われる能力は多岐にわたります。例えば、対人コミュニケーション力、セルフプロデュース力、継続的な情報発信力などは、他業界においても十分活用

できるスキルです。また、多様な立場の人々と関係を築きながら活動してきた経験や、限られた時間や環境の中で成果を出してきた経験は、一般的なビジネススキルとして活きる部分も多いと考えられます。しかし、それらの経験をどのような仕事や環境で活かせるのかという点や、自身のキャリアやスキルの棚卸しについて相談できる窓口は、現状では十分とは言えません。

私自身もアイドル卒業後、日々の活動の中で培ってきた経験をどのように仕事のスキルとして伝えればよいのか、職務経歴書を書く際に悩んだことがあります。活動経験が「特殊な経歴」として見られることで、自身の強みを適切に言語化できないまま、次のキャリアへ進んでしまうケースも多いのではないのでしょうか。

重要なのは、アイドルを辞めた後に初めてキャリアを考えるのではなく、活動している最中から複線的にキャリアを設計していく視点です。このような考え方は、近年のキャリア理論においても重視されています。一つの組織や職種に依存せず、自らの価値観や強みに基づいてキャリアを築いていく「プロティアン・キャリア」の考え方は、その代表例といえるでしょう。

アイドル業界においても、活動経験をその場限りのものとして終わらせるのではなく、そこで培った強みや価値観を言語化し、将来のキャリアへとつなげていくことが重要なのではないのでしょうか。もちろん、アイドル活動を長く続けること自体も重要で素敵なキャリア選択です。しかし現実には、本人の努力や意思だけでは継続が難しい場合も少なくありません。だからこそ、活動と並行しながら自身の可能性や選択肢について考えていくことが、将来を見据えたキャリア形成において大切になると私は考えます。

こうした視点は、個人だけでなく業界全体にも求められているのではないのでしょうか。今後のアイドル業界には、活動そのものを支えるだけでなく、個人の中長期的なキャリア形成を支える視点を持つことも重要になるでしょう。人気や若さだけに価値を置くのではなく、一人ひとりの成長や人生設計まで視野に入れた環境づくりが、これからのアイドル業界の持続的な発展と、アイドルたちが自分らしいキャリアを築いていくことにつながると考えています。

一人のアイドルファン、そしてアイドル経験者として、アイドルのみなさんのキャリアが自分らしく輝き続けることを願っています。